

東京電機大学校友会 千葉県支部だより

第3号

平成12年1月25日

事務局
千葉市中央区松波
3-11-19
モデン工業株式会社内

ご挨拶

支部長 関 泰雄

私ごと平成十一年度秋の叙勲に際し、社団法人千葉県電業協会前会長として永年に亘る専門工事業振興功勞により、勲五等瑞宝章授の榮に浴し、早速、東京電機大学丸山理事長より祝意を賜り感激の極みでございます。これも偏に校友会本部、県支部役員のご協力の賜と深く感謝して居ります。今後はこの榮譽に恥じない様残された任期一杯努力を傾注して参る所存でございます。

又、今回報第二号については、その編集に当たった役員、寄稿をいただいた方々のご協力により立派に発刊することが出来ました。今後の発刊に当たりましても出来るだけ幅広く会員より寄稿頂き、より良い充実した会報を目ざして参りたいと考えて居りますので、宜しくご協力の程をお願い申し上げます。受章及発刊に当たってのご挨拶といたします。

叙勲のお祝い

副支部長 小川 重二

関泰雄(卍)東京電機大学校友会千葉県支部長は、このたび勲五等瑞宝章を(受賞されました。誠にめでたいと思います。

関支部長は昭和二十八年電機工業専門学校電気科(現東京電機大学)を卒業し、昭和三十

十五年有限会社茂原電設工業(現モデン工業株式会社)設立、代表取締役となり以後四十年間という永きに亘り電気工事業の発展に寄与されて参りました。昭和六十二年から平成三年まで東京電機大学商工懇話会技術部長、平成八年(卍)東京電機大学校友会千葉県支部長、平成十年(卍)東京電機大学校友会理事に就任以來現在も活躍中でございます。

功績の概要と致しましては昭和四十五年(卍)千葉県電業協会の前身団体の理事に就任して以來、一団体を統合して昭和四十九年に法人化、昭和六十一年から平成九年まで会長として協会の組織の強化拡充、施工技術の向上、経営の近代化に取組み会員企業の地位向上に努めるとともに、県民への電気工事に関する知識の普及、安全性の確保に努め、同業界の発展に多大なる貢献を致しました。

昭和五十五年内閣総理大臣鈴木善幸(勲章(公共用土地寄付) 昭和五十八年・平成四年(卍)全国建設産業界連合会表彰(業界貢献) 平成二年千葉県知事表彰(土木功勞)と数々の表彰を受けて参りました。これは副支部長の人望の厚さと業界に対する業績が評価されたものであり、同じ校友会後輩として誇りに感じ、大変うれしく思います。

現在もモデン工業株式会社代表取締役社長として社業の発展に努めながら、多方面にわ

たり活躍中であります。これからもお体に留意され、より一層のご活躍と東京電機大学及び、電気工業事者に対してのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

源頼朝公と房総半島

東光電気工事(株)

特別顧問 竹内 保

私のホームコース、市原の源氏山ゴルフクラブ(交通事務所付近)で、何でここが源氏山なのかと疑問に思ったが、クラブハウスのそばに、理事長塚本素山氏の石碑があり、その由来が刻されていた。その概要と私の調べた事に加えて、房総の武士団が頼朝公の再度の挙兵に加担し、鎌倉攻めに大きな活躍をしたことを紹介する。

頼朝公は治承四年(一一八〇年)八月、小田原海岸近くの石橋山で挙兵したが平家軍に敗れ、船で安房勝山町竜島に上陸した。また一説には安房鴨川に着くとある。その夜、公の宿所を襲わんとする土豪ありとの報で仁衛門島の洞窟に潜み難を避けた。一方、三浦義澄は之を反撃して敗走させた。

公はこの地に馳まり後途を策した。然る所千葉に住む千葉常胤は一族をあげて公に応じると約す。公は大いに喜び安房国府館山を出発し、途中養老溪谷にある出世観音に三日間戦勝祈願後鎌倉へと北上した。同年九月その将兵北条、和田、三浦、安達の一統併せて三百騎という。上総国府(市原市役所東辺)を経て下総国府(市川市)に向わんとしたが、これまで去就不明の上総介平広常がこの地より東南の長柄郡一宮辺りに常駐しているとの報に公は警戒のため、今の源氏山にしばし陣

を敷き、山頂に白旗を掲げ兵を召集した。

この地は交通の要所、眺望雄大で四界は展げ、西に富士山を見る。また古くは日本武尊が東征に際し、この地に憩つたと古伝にある。また近くにある大権現は源氏の守護神である。さて公はさらに北上して下総国に入るが途中千葉西方の海岸に幕を張って宿営して兵の参加を待った。よってこの地を幕張という。大軍になった源氏勢は鎌倉に攻め入り、同年十月に鎌倉に入った。

それから十二年、弟義経の働きで平家を追討し、建久三年(一一九二年)征夷大將軍となった。公は鎌倉に幕府を開き、武家政治が始まる。

当世学生気質

東京電機大学

千葉ニュータウンキャンパス長

大庭 勝實

「ゆとりある教育」という耳に心地よい言葉の下に教育を受けて来た学生の実体は、基礎学力の極端な低下という現象を招いている。しかしながら、これは大学の努力で何とか一人前に教育することが出来る。大学の教育では時期が遅すぎて、どうしようもない人間としての品性の基本については、中学校卒業までに培われていなければ、その後の教育では手の打ちようがない。「徳」という字の成り立ちには「十四」歳の「心」で歩んで行くという意味が含まれており、中学校卒業までに人間としての品性、すなわち徳を家庭、学校で教育し終っていなければ、その後では再教育は不可能に近くなってくる。徳育

が疎かにされてきた結果、昨今の学生は授業中にペチャクチャ私語を交すのが非常に多い。また、授業中、シユース等、飲料物を傍に置いてある学生も多く、これらに注意するのに多くの時間を要するようになってきている。それでいて授業内容を理解しているかといえ、これがさっぱりで、宿題を出しても他人のを写し、間に合わせ的に提出するだけで、内容をじっくり考え、理解しようという雰囲気は希薄になってきている先日、宿題を出してその提出口で、その宿題について試験を行ったところ壊滅に近い状態であったのは唖然とした。しかし、前述したように、このことは何とか克服できようが、食べ歩きをしたり、ゴミを散らかしっぱなしにする、自分の利益になることしか興味を示さない、自己の世界に閉じ籠もる等、自己中心的になってきているのは、なかなか再教育するのは難しい。

さて、どうしてこのような学生が多くなつたのであろうか。各家庭にテレビが普及してからの現象のように思えてならない。東京オリンピックが行われた昭和三十九年頃からテレビが各家庭に普及し始めてきた。昭和四十年代半ば以降に生まれた世代は、生まれた時からテレビ漬けになってきている。テレビ漬けの結果、自分に興味のある番組のみに関心を示し、少しでも興味なくなればチャンネルを回せば、常に興味あるものを追いかける(追い立てられていく)のかも知れない。関心がなければ、全く興味を示さなくても周りが興味あるものを与えてくれるという受動的な生活を続けてきている結果が現代の学生を作りあげているように思う。このことが、授業内容に少しでも興味なくなれば我慢す

ることなく私語を交す現象を生み出し、また読書をしないう学生が増えている現象とも結びついている。読書の楽しみは、自己の知識感性、経験を総動員して能動的に働きかけて始めてその醍醐味を味わえるものと思うが、そのような訓練を今の学生は殆んど受けていない。

千葉ニュータウンキャンパスでも、わがままで我慢できない学生が増えてきている。特に奇異に感ずるのは、保健室に来る学生が多いうことである。だんだん弱体化していき、日本全体が二十一世紀に弱体化していくのを憂えるのは筆者だけであろうか。テレビを無くすることは出来ないであろうから、偏に家庭での徳育に力を入れて行くのを待つしかない。

◆◆◆◆◆
■校友会千葉支部建築部会設置
 ◆◆◆◆◆

**◆◆◆◆◆
 に関する事
 ◆◆◆◆◆**

葛西 信司

校友会千葉支部では、年一回の総会・懇親会と年数回のセミナーやイベントを行っており、支部の活動としては活発な方だと伺っております。

ここ数年、支部総会・懇親会に参加させていただいておりますが、そこで感じることは建築学科の卒業生がほとんど参加していないという事です。伝統ある電機大学の校友会という事で、電気関係のOBの方が多いなられるのは当然のことですが、建築学科を卒業した者の立場からみると学科の先輩・後輩にほとんど会うことがない寂しさを感じているのも事実です。建築学科卒業生が全く参加しなかったことはないとは思いますが、た

交 栄 電 気 株 式 会 社
 代表取締役 大塚武昭
 (昭和42年大学卒)
 東京都中野区東中野4-13-10 TEL 03-3364-3307

新 星 商 事 株 式 会 社
 技術顧問 花井卓郎
 (昭和35年大学卒)
 東京都千代田区岩本町1-1-5佐工サービスビル
 TEL 03-3866-4881

緒 形 電 気 管 理 事 務 所
 緒形久四郎
 (昭和45年大学卒)
 印旛郡白井町池の上2-7-2 TEL 0474-91-6671

株 式 会 社 電 機 産 業
 代表取締役 山本登
 (昭和21年電機卒)
 市川市南八幡1-24-12 TEL 047-378-4101

株 式 会 社 増 田 電 気 工 業 所
 取締役会長 増田隆一
 (昭和10年電機卒)
 千葉市若葉区貝塚町1195-18 TEL 043-231-5531

アズサ電気工業株式会社
 常務取締役 嶋田建弘
 (昭和40年大学卒)
 船橋市湊町3-7-15 TEL 047-433-1061

モ デ ン 工 業 株 式 会 社
 代表取締役 関泰雄 (昭和26年工専卒)
 取締役総務部長 渡辺武男 (昭和26年工専卒)
 安全管理室長 秋山昭七郎 (昭和30年大学卒)
 千葉市中央区松波3-11-19 TEL 043-255-1911

千 葉 電 気 工 事 株 式 会 社
 代表取締役 喜多村賢一郎
 (昭和35年高校卒)
 千葉市中央区末広1-1-2 TEL 043-224-5161

東 洋 熱 工 業 株 式 会 社
 東京本店本店長補佐 松本宏
 (昭和33年大学卒)
 東京都中央区京橋2-5-12 TEL 03-3562-1351

有 限 会 社 太 陽 電 設 工 業
 代表取締役社長 坂本金次郎
 (昭和38年高校卒)
 千葉市緑区おゆみ野5-11-7 TEL 043-291-2040

■私の趣味

ぶん私を感じたのと同じように違和感のよ
なものを感して以後出席しなくなっているの
ではないかと想像します。

考え方を換えれば、校友会という会を利用
して異業種の方々との人脈を築くというよい
機会ではあります。しかしながら、やはり同
窓・同学科というつながりを期待して、ある
いは会費をすることを楽しみにして参加を考えて
いる人が多いのではないかと思います。千葉
県内に住んでおられる建築学科の卒業生もか
なりの数になつてきているものと思われ、ここ
で校友会千葉支部の建築部会を設置してはごう
であつたかと考えます。

時を同じくして、建築学科の卒業生の同窓
会組織である「あぶの会」を発展的に解消し
て、新しい同窓会組織にしようとする動き出
しているところではあります。この新組織がど
のような形でいつ発足するのかはまだ具体的に
はありませんが（現在数回に分けて説明会を
開催中です）同窓・同学科の人脈交流が期待
されているものと思えます。そのようなか
千葉支部の中に建築部会を設置する必要性が
あるかとの思いもありますが、大きな組織は
かりではなく地域に根ざした交流の場があつ
てもよいのではないかと思います。また工学部の
建築学科のみではなく理工学部の建設工学科
卒業生も多々おられるであつた千葉の地に建
築部会を設置してみたいかがであつたか
提案させていただいてはいるところでありま
す。みなさまの積極的なご意見をお待ちして
おります。

花井 卓郎

よく趣味は何ですか、と聞かれます。私は
ちよつと口籠りながら、クラシック音楽を聴
くことと答えます。

クラシック音楽を聴くことは、もう三十年
以上にもなります。決して豊かとは言えな
かつた若い頃は、あまり聴きませんでした。簡
単なプレーヤーで、数少ないレコードの同じ
曲を何度も繰り返し聴いたものです。まして
生を聴きに行くチャンスはなかなかありませ
んでした。生も、レコードも装置も収入に比
べ、高価な時代でした。それでも、休日、家
にいた時間の殆どは音楽を聴いて過ごしてき
ました。美しい音楽、安眠を与えてくれる音
楽の中にゆつたりと身を置くことで仕事の疲
れを癒してきたと言えます。

誰の曲が好きかと聞かれたら、最初にあげ
るのはやはり天才、モーツアルトです。優し
さに満ちた流れるような美しいメロディ、ハ
ーモニの数々、僅か三十五年という短い生
涯に五〇〇曲以上（正確には判らなく、五〇
〇から一〇〇〇曲の間といわれます）のあら
ゆるジャンルを音楽を作曲し、しかも、その
どれもが優れた曲であり、音楽が鳴れば誰も
が引き付けられてしまつて言われています。

私の愛聴盤は、ブルノ・ワルター指揮に
よる後期シンフォニー、クララ・ハスキル
（P）によるピアノ協奏曲、カール・ベーム
指揮のレクイエム等々、その中にゆつたりと
身を委ねたとき、どれもが至福の時を与えて
くれます。

音楽が私達に与えてくれる喜び、悲しみ、
楽しみに感謝し、これからもより多く聞き続
けたいなと思つていきます。

株式会社 関電工

千葉支店営業部 副長 高橋 洋二
(昭和48年大学卒)
千葉市中央区新宿2-1-24 TEL 043-241-7916

民主党 千葉

第3区支部長 竹内 圭司
(平成4年大学卒)
市原市五井東3-8-8-202 TEL 0436-21-6370

株式会社しの・いんしゅあらんす

代表取締役 篠崎 浩一
(昭和41年大学卒)
千葉市若葉区愛生町114-1 TEL 043-254-8151

千葉システック株式会社

取締役営業部長 田中 豊明
(昭和34年大学卒)
千葉市中央区富士見2-3-1 TEL 043-224-6251

株式会社 杉沢建設

代表取締役 杉沢 順一
(昭和27年大学卒)
市川市平田4-8-12 TEL 043-378-8951

高率電設株式会社

代表取締役 小川 重二 (昭和28年電機卒)
取締役 小川 力 (昭和54年高校卒)
千葉市稲毛区緑町1-5-8 TEL 043-242-1539

東光電気工事株式会社

特別顧問 竹内 保
(昭和22年工専卒)
東京都千代田区西神田1-4-5 TEL 03-3292-2111

城南電設企業株式会社

代表取締役 並木 鷹男
(昭和44年大学卒)
千葉市緑区大高町40-15 TEL 043-295-1151

東光電気工事株式会社

東関東支社長 松本 武
(昭和39年大学卒)
千葉市中央区富士見2-3-1 TEL 043-224-7921

城南電設企業株式会社

常務取締役 徳久 昌之
(昭和44年大学卒)
千葉市緑区大高町40-15 TEL 043-295-1151

■楽しい日帰り登山

田中 豊明

晩秋の休日に里見八犬伝ゆかりの山、房州の富山に登って来ました。

千葉八時四十分発、内房線普通列車に会社の人達八名が、乗合せて参加しました。

内房線岩井駅十時半下車、国道に出てすぐ左折し、県道丸山線を行く。

均整のとれた、美しい双耳峰の、富山を見ながら歩き、福満寺のわきから山道に入つた。

照葉樹の間に、黄色、紅色の、雑木のまじる、房総の山の秋を、楽しみながら、落ち葉を踏みしめ、登って行く。

所々、海の見える所があり、休憩をしながら、階段状の急登に、ひと汗かいて、南峰(二四二米)に着いた。

整備された路を、北峰(二四九米)に向かう。北峰は、展望台のある広場になっている。三六〇度の展望を、楽しみながらの昼食。南は、南峰の右に、自衛隊の艦船が、十隻程停泊している館山湾。

その先に、大島、右に、伊豆半島の山並み。西は、浦賀水道を、行き交う大型船を前景に、三浦半島、横須賀火力発電所は目の前だ。雪化粧した富山も出ている。

北に、横浜ランドマークタワー、ベイブリッジも見え、遠く東京のビル群、東京タワーも確認できる。

富津火力、新日鉄、目の前には鋸山、マザー牧場、鹿野山、高岩山、房総の山々。

東、伊予ヶ岳はすぐそば、嶺岡山にも手がついてきた。

まさに、三六〇度の大展望だ。

この広場には、皇太子御夫妻が今年二月に、登山されたとの、記念碑が有りました。

晩秋、柔らかな日差しの中、一時間の休憩。後に、北峰と南峰の鞍部から東にむかい、竹林のある急坂を下ると、舗装された林道になる。雑木林の変化を、楽しみながら歩いてくると、びわ畑の中に水仙が芽をだしている。(正月には花が咲いているだろう)程なく、伏姫の籠屋に着いた。

休憩のあと、富山中学校の前から田圃の中の通学路を、岩井駅へ三時半についた。

皇太子御夫妻の登山コースは、大変良く整備され、気持ち良く、歩くことが出来ました。

房総の山は、晩秋から早春までが登山には最適とおもいます。

これからも、気楽な日帰り登山を、郷土の山で楽しみたいと、おもいます。

■千葉県支部総会

事務局 渡辺 武男

第二十九回通常総会が平成十一年七月二十三日(金)午後三時より、東横イン千葉で、出席者三十八名、委任状二八八名、計三四四名で開催された。

平成十年度の活動実施報告、同決算報告、監査報告が承認された。平成十一年度事業計画案、同予算案が提示され承認された。さらに、関支部長が校友会理事に、支部長補佐に花井幹事が選任された報告があった。閉会後東邦電計(株)若林相談役を講師として、ISSO九〇〇Sをテーマに講演を頂きました。

懇親会には、小谷誠学長、宮本雅次常務理事兼総務部長、加藤勝一校友会理事長、土肥原伸一講師などをお招きし、盛大な立席パーティーで懇親を深めた。会員の皆様、次回の懇親会は是非出席して下さい。

校友会千葉県支部

総会、イベント等で楽しんでみませんか。情報交換等先輩後輩が身近です。御案内イベント等の運営は校友会千葉県支部会費で賄われています。

- ▼ 一年分会費 一千元
 - ▼ 五年分会費 一万円
- 総会イベント等で納付して頂いております。

● 入会相談は
校友会本部：〇三(五二八〇)三二二二
千葉県支部：〇四三(二二五五)一九二一
モダン工業内 渡辺まで

編集後記

松本 武

先日、電大創立五十周年で藤中教授の記念講演「ソーラーEV世界を駆ける」を聴き、研究過程、達成度に感動しました。五十年後の世界のエネルギー状況を考えると、寒けの不安感を覚えます。石油は間もなく地球上から無くなります。講演の中で先生が「江戸時代に戻るのは簡単だが、そうならないために私達は研究しているのです。」と話されていました。

私達は子供や孫たちと、将来のエネルギーについて話し合う必要があると考えさせられました。

(社)東京電機大学校友会 千葉県支部役員 (平成11年度)

役名	氏名	電話
支部長	関 泰雄	043-255-1911
支部長補佐	花井 卓郎	0471-66-0206
副支部長(会計)	小川 重二	043-242-1539
副支部長(事業)	松本 武	043-224-7921
副支部長(総務)	嶋田 建弘	03-3452-5311
常任幹事(会計)	喜多村賢一郎	043-224-5161
幹事(会計)	山本 忠雄	0473-78-4101
常任幹事(事業)	徳久 昌之	043-295-1151
幹事(事業)	高橋 洋二	043-241-7331
幹事(事業)	黒沢 昌弘	0476-34-5670
幹事(事業)	重崎 始	045-651-1631
幹事(事業)	竹内 圭司	03-5462-9605
常任幹事(総務)	田中 豊明	043-224-6251
幹事(総務)	坂本 金治郎	043-291-2040
幹事(総務)	猪狩 俊明	0436-22-4656
幹事(総務)	篠崎 浩一	043-254-8151
幹事(総務)	高久 広毅	0422-37-6488
幹事(総務)	渡辺 武男	043-255-1911
幹事	島山 忠之	03-3667-7481
幹事	後藤 恒	0485-23-4199
幹事	市川 勝利	043-485-5111
幹事	鈴木 繁雄	03-3270-7851
幹事	岡野 敦	043-227-9131
幹事	桜井 知明	0470-82-0267
幹事	松本 宏	03-3562-1351
幹事	大塚 武昭	043-271-2735
幹事	杉原 喜久造	0475-23-6169
幹事	緒方 久四郎	0474-91-6671
相談役	山本 登	0473-78-4101
相談役	竹内 保	03-3292-2111
相談役	杉沢 順一	0473-78-8951
相談役	小林 健治	0473-65-4838
相談役	増田 隆一	04796-2-0204
相談役	斎藤 峻佐	0475-72-1111